

6. 絵図・地図類

番号	名称	形状	員数	年月日	法量	紙数	備考	管理番号
1	〔廉塾周辺図〕		1枚		40.7×68.0	3紙	紙本墨書、朱書あり、文政八年以前の配置図	J017-009
2	〔廉塾周辺図〕		1枚		45.5×77.3	3紙	紙本墨書、朱書あり、1号(J017-009)より簡略	J017-010
3	〔廉塾周辺図〕		1枚		46.7×24.2	3紙	紙本墨書、山陽道より南側	J017-011
4	素読所附田畑絵図面	袋綴装	1冊	文政八年酉三月	28.2×20.4	42丁	紙本墨書、共紙表紙、外題直書「文政八年酉三月 素読所附田畑絵図面」、朱字書込あり	K001-561
5	〔御買入絵図面(塾田)〕		1巻		25.2×455.7	18紙	紙本墨書、楮紙、朱書あり、首題・扉題「文化十二年御買入絵図面 安那郡 湯野村」/文化五年・十二年購入塾田の絵図面	J003-148
6	湯野村中田検地区		1鋪		24.7×35.2		紙本墨書、首題・扉題「湯野村中田検地区」、茶山の筆跡か	K001-516
7	備後国福山御城下絵図		1鋪	天明二(年)壬寅年二月	92.8×109.8	10紙	紙本墨書、表紙墨書「百五十六番」「黄葉夕陽村舎」、裏表紙墨書「天明二壬寅年二月」、北上、方位記入、黒文長方印「神辺駅廉塾記」	E009-029
8	〔備後府中地区〕		1鋪		44.3×29.5		紙本著色、端書「朱ノ道筋藍ハ水筋 - - - ハ者ノ大川筋也、此大川筋ハ、某大ニ(既+ホ)ヲ想像シテシスル耳或ハコレヲクワシクセントナラハ府川高木中須等古川ノ地名ヲコトゴトク挙テ詳ニ其所在ヲ推ストキハ昔ノ大川ノ流大半知ラルベシ今此圖ニ古川ノ地ヲシルス只知レル所ノ一端ヲ挙ル而已」、〔二十七番〕、備後国府中の平面図、古河床推定位置を - - - で記す	A016-108
9	〔芦田川御調川流域絵図〕		1鋪		34.0×109.6	5紙	紙本著色、茶山直筆、端裏「百六十九番」、芦田川と御調川の合流点以北の流域(父石村・篠根村・下河面村など)、山、水面、道筋に着彩	F011-009
10	備後奥川筋図		1鋪		51.2×70.7	6紙	紙本著色、端書「備後奥川筋図 菅太中蔵」、〔三十一番〕、神石郡の川沿いにある村や橋、渡を書き込む地図、薄茶彩色が川筋と東西南北の文字に有り、橋に朱あり	A016-090
11	恵蘇郡比和村之図		1枚	文化十(年)癸酉年	31.1×43.5		紙本墨書、端書「文化十癸酉年改恵蘇郡比和村之図 社人撰津控」、〔十九番〕	A016-032
12	備後国絵図		1鋪		31.0×280.0		紙本著色、茶山墨書「菅太中蔵 大小二本 今按ニ古拾万石之地あらハ備中郡村あるべし今図ニ見ヘす」、墨書「備後国絵図 古拾万石絵図共ニ」、袋附属(38.3×25.1)、袋墨書「壹番」	F011-031
13	〔備中・備後・安芸国里程図〕		1鋪		30.8×49.8		紙本著色、端裏書「三十四番」、折帖、表面に里程、裏面に運賃を記す	E009-019
14	〔石見国西端部里程図〕		1鋪		33.8×45.9		紙本墨書、端書「十五番」、里程朱書、益田以西の地域の図	F011-065
15	広島より両国諸処へ之路筋(図)		1鋪		82.8×79.4	2紙	紙本墨書、端書「広島より両国諸所へ之路筋」、〔菅太中蔵〕、〔十六番〕、里程は朱書	F011-112
16	備芸西国浦津島嶼図		1鋪	文化戊辰(五年)九月十二日写	64.3×55.2		紙本淡彩、題簽「備芸西国浦津島嶼図 廉塾蔵書之一」「七番」、墨書「文化戊辰九月十二日讃岐三口昌念口菅太中蔵」、備後・備中の境から安芸周防まで讃岐伊代の海岸線地名のみ、海路も示す、島はかなり細かい、福山城、松山城を描く、黒文長方印「神辺駅廉塾記」	E009-016
17	〔いわし島略図〕		1枚		24.4×33.3		紙本著色、(図中書込)「いわし嶋」「十八番」、山の部分に「アサキ」と著色の指定か	F011-120
18	〔服部大池の図〕		1鋪		69.0×137.2	12紙	紙本淡彩、端裏「三十五番」、山・川・村名墨書貼紙	F011-020
19	岡山学校(略図)		1鋪		32.7×24.5		紙本墨書、端書「委敷キ図ハ追て上げ可申候、あ□□入用ノ所はかり如此」、〔百三十一番〕	F011-063
20	〔備後吉備津神社境内図〕		1鋪		91.3×157.5		朱書あり	F011-093

6. 絵図・地図類

番号	名称	形状	員数	年月日	法量	紙数	備考	管理番号
21	改正江戸絵図	折本装	1 鋪	天明五年毎月改正刊	87.5×89.9	5 紙	木版墨刷(手彩色), 題箋「改正江戸絵図」, 表紙墨書「十番」, 裏 茶山筆「金粟園程成修験」, 隅田川以東追加あり, 薄茶表紙, 「天明五年毎月改正 江戸芝神明前 奥村喜兵衛 板」	F011-070
22	懷宝御江戸絵図		1 鋪	享和三癸亥年毎月刊	77.8×89.4	5 紙	木版淡彩, 題箋「懷宝御江戸絵図」, 表紙墨書「十一番」, 刊記「享和三癸亥年毎月/江戸日本橋南一丁目 須原屋茂兵衛版」, 「一分廿間の積り」, 表紙紺紙, 大名屋敷名, 家紋入り	E009-022
23	分間懷宝御江戸絵図		1 鋪	文化十一甲戌年毎月刊	79.8×89.5	5 紙	木版墨刷, 題箋「分間懷宝御江戸絵図」, 表紙墨書「百六十五番」, 刊記「文化十一甲戌年毎月/江戸日本橋南一丁目須原屋茂兵衛版」, 「一分廿間」方位有り, 屋敷名, 家紋入り	E009-002
24	湯島聖堂平面図		1 鋪		39.0×51.8	2 紙	紙本著色, 端書「七十五番」, 湯島聖堂の手書き平面図彩色, 堂舎ほかを色で描き分ける	A016-046
25	〔鎌倉神社仏閣絵図〕		1 鋪		63.2×45.8	2 紙	木版墨刷, 表紙なし, 朱書あり, 鳥居・社等に手彩色朱, 端裏に墨書「貳百廿一番」, 刊記等なし	F011-081
26	修学院離宮図	卷子装	1 巻		28.3×153.0		紙本著色, 表書「修学院離宮図 菅太中蔵」, 朱「三十七」, 朱文方印「神辺駅間塾記」, 庭建物配置, 各建物間取	C010-037
27	〔吉野略図〕		1 枚		23.4×33.0		紙本墨書/文化元年「ひたちみちの記」作成時の茶山作図カ	F011-033
28	大和巡方角絵図		1 鋪	天明二(年)壬寅仲春刊	48.5×59.2	4 紙	木版墨刷, 外題「大和巡方角絵図」, 朱書・墨書「十二番」朱書・墨書附紙あり, 斜め辻つなぎ木版摺青灰色, 内題「大和めぐり道法絵図」, 刊記「天明二壬寅仲春 和州八尾新町 本屋清蔵 京都六角通御幸町 小川多左衛門ほか」, 茶山自筆朱筆にて道筋と地名を加える/茶山大和行時に携帯カ	F011-113
29	近江国大絵図 全		1 鋪	寛保二(年)壬戌年九月吉日刊	85.6×137.0	6 紙	木版墨刷, 題箋「近江国大絵図 全」, 内題「近江国細見図」, 墨刷「近江国細見図 寛保二壬戌年九月吉日 作者河州散人山下重政 校合浪花山下重政 校合撰陽森孟忠 浪花書林心齋橋筋安堂寺町村上伊兵衛 順慶町五丁目大津屋嘉兵衛」, 大津よりの各里程, 領主御大名附, 名所旧跡, 名物土産, 表紙紺紙, 金粟園蔵書, 黒文長方印「神辺駅間塾記」	E009-037
30	懷玉三河州地理図鑿		1 鋪		112.0×112.0	12 紙	木版墨刷, 題箋「懷玉三河州地理図鑿」, 墨刷「三州八郡地理之図 巖谿散人題」, 表紙墨書「參州岡崎昌光律寺万空上人所恵菅太中蔵」, 裏表紙墨書「菅太中蔵 六番」, 薄茶表紙, 朱点, 一分道筋に朱あり, 刊記なし, 墨書「巖溪散人題」	E009-031
31	〔小刀図・肥前国五嶋之図〕		1 枚		25.6×37.0		紙本墨書, 端書「百五十二番」, (右)八幡神社奉納の小刀図, 各部分名称・寸法記入, (左)五島列島〜生月嶋・平戸嶋を描く, 地名・方位を記入	A016-057
32	肥前長崎図		1 鋪	安永七(年)戊戌八月刊	66.6×88.7	4 紙	木版淡彩, 題箋「肥前長崎図」, 刊記「安永七戊戌八月 長崎勝山町 大島文次右衛門板」, 表紙墨書「五番」, 水面は青灰色刷, 渋紙表紙, 黒文長方印「神辺駅間塾記」	E009-015
33	対馬島図		1 枚		33.5×24.0		紙本墨書, 端書「古屋帯刀様御用人波多野源蔵対中図」, 「百三十番」, 左下に梵鐘図, 墨書「府中八幡宮ニ□ 天宝年中」	F011-125
34	対馬図(府中巖原略図)		1 枚		28.3×40.5		紙本墨書, 端書「対馬図」, 図中朱字書き込みあり, 「十四番」	G089-002
35	九州全図		1 鋪		57.7×82.0	2 紙	木版著色, 墨書「九州全図 黄葉夕陽村舎 百五十五番」, 黄色表紙, コンパス表記有り, 対馬別紙貼り込み(地名等詳細)	E009-020
36	〔福山藩領絵図〕		1 鋪		78.9×54.1	4 枚	紙本淡彩, 黒文長方印「神辺駅間塾記」/福山志料掲載図の下図カ	E009-010

6. 絵図・地図類

番号	名称	形状	員数	年月日	法量	紙数	備考	管理番号
37	[福山藩領絵図]		1 鋪		84.7×61.9	6 枚	紙本淡彩, 黒文長方印「神辺駅間塾記」	E009-011
38	津軽学校惣構図		1 鋪		68.8×57.3	4 紙	紙本墨書	F011-021
39	緑猗園周辺景観図		1 鋪		136.1×161.0		紙本著色, 緑猗園「此君亭」とある, 東の方向「口吾城」を記す/茶山「黄葉夕陽村舎詩」に記載あり	F011-098
40	改正日本輿地路程全図 増修定本		1 鋪	寛政三年辛亥春正月刊	84.5×132.0	6 紙	木版色刷に手彩色, 題簽「改正日本輿地路程全図増修定本」, 墨刷「新刻日本輿地路程全図序安永乙未口月阿波国儒者讚岐柴邦彦撰 東都榊原隠士考証」, 墨書「備後神辺駅 廉塾 三番」, 薄緑表紙(厚紙)鞠文様入, 方位表示有り, 一度単位の経緯度線入り, 琉球なし, 松前と朝鮮は先端部分のみ, 海路入り, 刊記「寛政三年辛亥春正月」, 版元「京師畑九兵衛鑄字, 浪華浅野弥兵衛発行」, 序文「安永乙未口月 阿波国儒者讚岐柴邦彦撰」, 朱文方印「神辺駅間塾記」, 長久保赤水作	E009-032
41	赤人所図日本・蝦夷之図		1 枚		28.0×40.0		紙本墨書, 端書「赤人所図日本蝦夷之図 江府 聖堂中之士摸得此図所貽早川某云々」, 「三十三番」, オホーツク海・日本海沿岸の地図	A016-091
42	[長門国豊浦郡安岡村絵図]		1 枚		39.0×53.7	2 枚	紙本著色	F011-011
43	松前えそ図		1 鋪		96.0×104.5		紙本著色, 茶色で松前・津軽・南部藩領, 紺色で海川沼湖, 黄色口印で松前, 同△印で「運上屋」, 同○印で「蝦夷村」, 緑色で山岳を着色, 海岸沿いに朱線で道筋を表示, 朱線中一里二分ごとに朱点, 北は樺太南端, 東は国後島・色丹島, 南は下北半島・津軽半島・陸奥湾付近, 図余白四方に○囲みの東西南北の表示あり, 図の南側余白に凡例, 他3方側余白に運上所と距離一覧, 墨書「菅太中蔵」, 図中9箇所にて蝦夷地各所の情報墨書, (裏面)墨書「此図もと鯨取又左衛門へ公儀より被下候 又左衛門えそへ鯨取に参候節之事と云」/図形は近藤重蔵図の系統, 墨書はいずれも茶山の自筆	F011-091
44	松前えそ図		1 鋪		99.4×101.1		紙本著色, 43号(F011-091)と同図, ただし山岳は黄土色, 海川沼湖は灰色で着色, 図中の蝦夷地各所の情報の墨書は4箇所のみで記載内容は43号同位地と同様, 黒文長方印「神辺駅間塾記」/墨書は茶山の自筆	F011-091-2
45	唐土歴代州郡沿革地図		1 帖	寛政元年己酉春三月序	36.0×643.6		木版色刷, 原序「乾隆五十四年榴月下浣古杭沈口綸揮手」, 序「寛政元年己酉春三月 水戸立原万書」, 「割口江川美啓」, 見返朱書「也」, 第一「大清国道程図」, 第二「禹貢九州図」, 第三「周職方氏図」, 第四「春秋列国図」, 第五「戦国七雄地図」, 第六「秦三十六郡并越四郡」, 第七「西漢州郡図」, 第八「東漢郡国図」, 第九「三国鼎峙図」, 第十「兩晋南北朝州郡図」, 第十一「唐十道図」, 第十二「大明一統二京十三省図」, 第十三「亜細亜小東洋図」, 「曲尺一寸準三百里許 百里曲尺三分余」, 全図北上, 第二・四・六・十一方位未記入, 箱(38.4×23.4×4.0)入, 蓋書「唐土歴代州郡沿革地図 神辺駅学問所」, 墨書包紙(箱に貼付)「唐土歴代州郡沿革地図 黄葉夕陽村舎」貼付, 朱文方印「神辺駅間塾記」, 「菅縄之印」, 長久保赤水作	G005
46	地球輿地全図	折本装	1 鋪	文化庚午(七年)秋新鑄	144.5×143.3		題簽「地球輿地全図 亜細亜北亜墨利功境」, 裏面墨書「岡田先生所蔵」, 袋(35.7×25.4)附属, 「(印「印文未詳」)」詠帰齋主人校修 文化庚午秋新鑄 温其軒蔵板(印「靈蘭」)(黒印)」, 樺太を2島に描き, 欄外に1島説も図示す, 経緯度5度単位, 大西洋のフク島基準の135度から240+, 赤道以北, 朱文方印「神辺駅間塾記」	F011-141

6. 絵図・地図類

番号	名称	形状	員数	年月日	法量	紙数	備考	管理番号
47	新訂万国全図		1 鋪		115.4×196.4		紙本銅版淡彩, 黒文方長方印「神辺康塾記」, 木箱附属(51.8×31.7×3.3), 蓋上書「新訂万国全図」	G0055